

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月2日

上場会社名 株式会社ハマキヨウレックス 上場取引所 東
 コード番号 9037 U R L <https://www.hamakyorex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 竹内 義之 T E L 053(444)0054
 兼経営企画室長
 配当支払開始予定日 ー
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	116,081	4.6	11,616	9.4	12,313	9.3	7,638	11.0
	110,978	5.6	10,615	8.4	11,270	11.1	6,879	11.8

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 8,815百万円 (14.5%) 2025年3月期第3四半期 7,702百万円 (9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	103.21	-
	92.39	-

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%
2025年3月期	169,043	107,665	56.1
	159,446	101,896	56.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 94,766百万円 2025年3月期 89,559百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	-	65.00	-	18.75	-
2026年3月期(予想)		18.75			20.00
					38.75

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2025年3月期 1株当たり期末配当金について

当社は、2024年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。

2025年3月期の第2四半期末配当金につきましては、当該株式分割前の実際の配当金額を記載しております。年間配当につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、表示しておりません。

なお、当該株式分割を考慮した場合の2025年3月期の第2四半期末1株当たり配当金は16.25円、1株当たり年間配当金は35円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
通期	153,000	4.3	13,900	5.2	15,000	5.0	9,400	5.2

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 -社 (社名) -、除外 -社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	76,048,000株	2025年3月期	76,048,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	2,036,618株	2025年3月期	2,040,400株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	74,010,012株	2025年3月期 3Q	74,459,371株

(注)当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して2025年3月期3Qの「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(追加情報)	5
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
(セグメント情報等の注記)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善やインバウンド需要の高まりにより、緩やかな回復傾向が続いておりますが、米国の政策動向や為替変動、物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、物価上昇の影響や人手不足等、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第3四半期連結累計期間は、営業収益1,160億81百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益116億16百万円（同9.4%増）、経常利益123億13百万円（同9.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益76億38百万円（同11.0%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

(物流センター事業)

当第3四半期連結累計期間の営業収益は750億37百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は102億39百万円（同10.2%増）となりました。

增收増益の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度及び当連結会計年度に受託した新規センターが順次業績に寄与したこと、M&Aによる効果があったこと等によるものであります。

また、新規受託の概況につきましては、11社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した1社を含めた12社のうち11社が稼働しております。残り1社につきましては、第4四半期以降の稼働を目指して準備を進めてまいります。

なお、物流センターの総数は、192センターとなっております。

引き続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

(貨物自動車運送事業)

当第3四半期連結累計期間の営業収益は410億44百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は13億95百万円（同6.8%増）となりました。

增收増益の主な要因につきましては、運賃値上げ交渉による効果があったこと、貸切便収入の増加があったこと、M&Aによる効果があったこと等によるものであります。

今後につきましては、輸送物量の増加、管理強化による輸送コストの抑制に努めるとともに、近物レックス（株）において、事業開発の専門部署を中心とした、新規案件の獲得やグループ内での取引拡大を進め、収益性の向上に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当企業グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比95億97百万円増加し、1,690億43百万円となりました。これは主に、設備投資により固定資産が増加したことと連結子会社が増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比38億28百万円増加し、613億78百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したことと連結子会社が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比57億69百万円増加し、1,076億65百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益76億38百万円の計上と剰余金の配当による27億75百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の56.2%から56.1%へと減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績見通しといたしましては、営業収益1,530億円（前年同期比4.3%増）、営業利益139億円（同5.2%増）、経常利益150億円（同5.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益94億円（同5.2%増）を見込んでおります。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであります。当企業グループの主たる事業である物流センター事業及び貨物自動車運送事業については経済、景気動向及びお客様の業況等の変動により影響を受ける可能性があり、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに開示いたします。

なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間40百万円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	23,643	21,862
受取手形、売掛金及び契約資産	16,904	19,667
商品	2	11
貯蔵品	154	182
その他	5,096	4,543
貸倒引当金	△41	△47
流动資産合計	45,758	46,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,565	43,417
土地	52,746	55,790
その他（純額）	11,860	11,560
有形固定資産合計	103,171	110,769
無形固定資産	2,638	2,636
投資その他の資産	7,877	9,417
固定資産合計	113,687	122,823
資産合計	159,446	169,043
負債の部		
流动負債		
支払手形及び買掛金	6,914	7,531
短期借入金	14,564	15,145
未払法人税等	2,568	1,661
賞与引当金	1,514	853
その他	9,096	11,153
流动負債合計	34,658	36,344
固定負債		
長期借入金	9,776	11,156
退職給付に係る負債	5,406	5,267
その他	7,708	8,609
固定負債合計	22,891	25,033
負債合計	57,549	61,378
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,484	6,485
利益剰余金	77,599	82,462
自己株式	△1,945	△1,942
株主資本合計	88,685	93,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	638	1,004
退職給付に係る調整累計額	235	208
その他の包括利益累計額合計	873	1,212
非支配株主持分	12,337	12,899
純資産合計	101,896	107,665
負債純資産合計	159,446	169,043

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益	110,978	116,081
営業原価	96,628	100,630
営業総利益	14,350	15,451
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	2	6
役員報酬	692	685
給料及び手当	856	909
賞与引当金繰入額	93	84
退職給付費用	32	19
その他	2,057	2,129
販売費及び一般管理費合計	3,734	3,834
営業利益	10,615	11,616
営業外収益		
受取利息	1	13
受取配当金	92	99
固定資産売却益	153	121
助成金収入	45	200
売電収入	290	299
雑収入	451	408
営業外収益合計	1,034	1,142
営業外費用		
支払利息	132	188
売電原価	162	165
雑損失	83	92
営業外費用合計	379	445
経常利益	11,270	12,313
特別利益		
固定資産売却益	33	-
負ののれん発生益	-	120
投資有価証券売却益	-	35
その他	-	12
特別利益合計	33	169
特別損失		
物流センター移転閉鎖損失	22	-
和解金	-	17
固定資産除却損	-	47
特別損失合計	22	64
税金等調整前四半期純利益	11,281	12,418
法人税、住民税及び事業税	3,268	3,595
法人税等調整額	374	350
法人税等合計	3,643	3,945
四半期純利益	7,638	8,473
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,879	7,638
非支配株主に帰属する四半期純利益	758	834
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	381
退職給付に係る調整額	△0	△39
その他の包括利益合計	64	342
四半期包括利益	7,702	8,815
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,948	7,977
非支配株主に係る四半期包括利益	753	837

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	4,557百万円	5,023百万円
のれんの償却額	122百万円	130百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	70,921	39,470	110,391	-	110,391
その他の収益	587	-	587	-	587
外部顧客への営業収益	71,508	39,470	110,978	-	110,978
セグメント間の内部売上高 又は振替高	306	1,554	1,861	△1,861	-
計	71,814	41,024	112,839	△1,861	110,978
セグメント利益	9,292	1,306	10,598	16	10,615

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	74,379	41,041	115,421	-	115,421
その他の収益	657	3	660	-	660
外部顧客への営業収益	75,037	41,044	116,081	-	116,081
セグメント間の内部売上高 又は振替高	349	1,746	2,095	△2,095	-
計	75,386	42,790	118,177	△2,095	116,081
セグメント利益	10,239	1,395	11,635	△18	11,616

(注) 1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「貨物自動車運送事業」セグメントにおいて、石丸運輸株式会社及び株式会社バンスポートの株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては120百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。